

「だいち2号」による地殻変動量を基にした球状圧力源モデル（暫定）

だいち2号による干渉解析結果に基づき、変動源の推定を行った。変動源のモデルとして、球状圧力源を仮定し、位置（水平・深さ）、体積変化量を推定した。なお、標高を簡易的に考慮した解析を行っている。観測値と計算値、残差を図4（干渉画像）に、推定されたパラメータを表1に示す。圧力源は、吾妻山（一切経山、吾妻小富士）の西側、深さ約1.3km（地表から概ね3km）の位置に求まった。

表1 推定された球状圧力源のパラメータ（深さの基準は標高0m）

緯度 (°)	経度 (°)	深さ (km)	体積変化量 (m ³)
140.2248	37.7252	1.3	1.3 × 10 ⁶

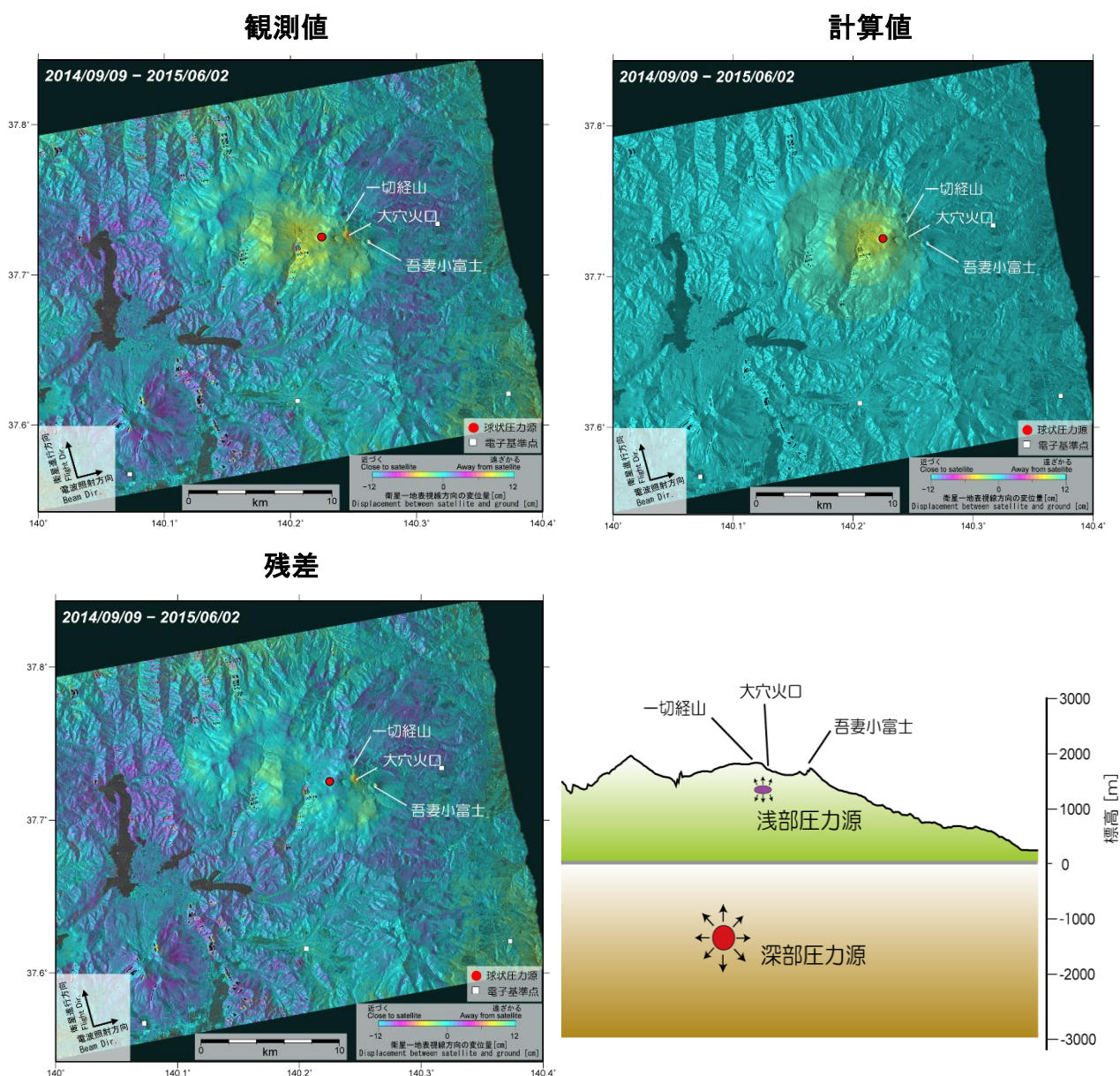


図4：（左上）干渉画像（2014年9月9日－2015年6月2日）、（右上）計算値、（左下）残差、（右下）変動源の概念図